

令和5年度

9be 学園
九州美容専門学校

自己点検・評価報告書

目次

自己点検及び評価項目

- 【 基準1 教育理念・目標 】
- 【 基準2 学校運営 】
- 【 基準3 教育活動 】
- 【 基準4 就学成果 】
- 【 基準5 学生支援 】
- 【 基準6 教育環境 】
- 【 基準7 学生の受け入れ募集 】
- 【 基準8 財務 】
- 【 基準9 法令等の遵守 】
- 【 基準10 社会貢献、地域貢献 】

評価基準の設定

評価基準（ 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 ）

自己点検及び自己評価結果

(1) 教育理念・目標

評価項目	R5年度 自己評価
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
② 学校における職業教育の特色は設定しているか	4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けた方向づけがなされているか	4

自己評価
<p>本校は、学校教育法及び美容師法に基づき、美容師として必要な知識及び技能を習得させるとともに、社会人としての教養と近代的な感覚を会得させ、公衆衛生の向上に寄与できる美容師の養成を目的とする。（学則第1条）</p> <p>また、創立100年の日本屈指の歴史と伝統を兼ね備えた美容専門学校として、専門性の高い4つのコースで、幅広いフィールドで活躍できるスタイリストの育成を目標にしている。</p> <p>その根底には「歴史と伝統が築き上げた人のつながり」を財産とした実践的な教育がある。</p> <p>学校の特色については、パンフレット・HP・DMで広く公表すると共に、体験入学及び学校説明会の開催等によりその周知に努めている。</p> <p>職業実践専門課程の認定を受け、下記5点に重点を置き、熊本県内サロン等との産学提携を一層進めている。</p> <p>①最新技術や流行に合わせた技術を習得・・・企業と綿密の連携した実習・演習を実施</p> <p>②社会が求める魅力ある人材を育成・・・充実した教員研修により教育の質をさらにアップ</p> <p>③企業が求める人材育成のための実践的な教育・・・カリキュラムの編成・組み立てに企業等の意見を反映</p> <p>④最新の就職動向などの情報をいち早く取得・・・就職に対する意識向上を図るキャリアアップセミナーや就職ゼミナーを実施</p> <p>⑥ 学習内容が改善でき、社会の流れにあった授業・・・企業等を参画して学校評価を実施</p>

(2) 学校運営

評価項目	R5年度 自己評価
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確に具現化したり、有効な機能化を図っているか	4
④ 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
⑤ 教育・財務等の組織整備など意思決定システムは、整備されているか	4
⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

自己評価

毎年3月に事業計画を策定し、学校運営、教育活動、就職活動、広報活動等の運営方針を提示している。

具体的な指導内容、行事を年間スケジュールに位置づけ、数値目標等を詳細に掲げ、その執行体制を確保するための研修計画、教職員配置、役割分担等の明示を行った。

創立100周年記念としての校舎リニューアル工事では、玄関サイドにカフェブースを設置し、いままで以上に、学生間、学生と教員間のコミュニケーションが活発になるような開放的な空間をつくった。

H Pは、行事等の周知を図り、ブログでは行事や授業・検定・コンテスト等の内容の周知を図った。

当校の公式ツイッター・インスタグラムでは、学校の行事、学生の様子、オープンキャンパスの告知・報告等を発信した。新たな情報発信ツールとして広報活動が充実してきた。

情報公開についてはH Pを活用し、保護者や卒業生、企業へ向け情報発信を行っている。

(3) 教育活動

評価項目	R5年度 自己評価
① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
② 教育理念、育人人材像等や業界のニーズを踏まえた学科の終業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編集されているか	4
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発は実施されているか	4
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携を考慮したカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
⑦ 授業評価に係る評価体制の確率、及び実施はなされているか	3
⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
⑩ 資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
⑭ 教員の能力開発のための研修等が行われているか	4

自己評価
カリキュラムの編成は教育課程編成委員会の意見を活用し、学校内で行っている。企業の意見・要望を直接反映させる委員会における意見を、平成28年度のカリキュラム編成から、積極的に取り入れた。在学2年間という限られた期間で資格の取得及び人材育成を実施するための体系的でより効果的なカリキュラム編成を行っている。成績評価・進級卒業条件等は、学則で明記している。資格取得については、美容師国家試験の合格を最重要課題としている。

平成 29 年に日本ヘアカラー協会（JHCA）の美容学校認定制度を導入し認定校となった。1 年次に JHCA シングルスター検定（実技・筆記）を受験させ、就職先で即戦力として活躍できる実践的な技術の習得を目指している。

外部講師や企業との交流の拡大や、最新ファッションへの接点の拡大を目的に、本年度に新たに導入したカリキュラムとしては下記である。JHCA ダブルスター検定の受験も 2 年目を迎え、当校及び外部講師の指導ノウハウも蓄積している。

- ① 卒業後 3 年以内の卒業生による講演会
- ② 現場のプロフェッショナルによる実演講座
- ③ スタイルブック作成による自己分析（自分の興味や関心を再確認）
- ④ 映画を教材にした最新ヘアヘアーやメイクの研究

教員・職員研修については、担当職員がトリプルスター検定を受験し合格するなど、教員の技術力の向上も図られた。

（４）学修成果

評価項目	R5 年度 自己評価
① 就職率の向上が図られているか	4
② 資格取得率の向上が図られているか	4
③ 退学率の低減が図られているか	4
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

自己評価
<p>就職率については、関連企業の協力や学校内部でのキャリア教育の充実により、過去数十年にわたり就職希望者 100% という実績を上げている。美容師国家試験の完全取得が、最大の職業要件であることから特に指導には重点を置いているが、昨年の合格率は 96% となり、例年以上の合格率を確保することができた。</p> <p>退学は 1 年次の 1 学期に多くみられるが、ここ 2 年間はフォロー体制の強化の効果もあり、大幅に減少している。退学の要因は、学校生活不適応、進路選択の不適合等が多い。この時期を過ぎると退学者は、ごく少数になるが、経済的・精神的な理由による退学者が時折みられる。卒業生に講義やレクチャー、コンテストの審査員等の依頼も行い、卒業生のモチベーションの向上と同時に在校生の意欲の高揚も図っている。学校 HP 等でその成果等を公開する取り組みも進められた。</p>

（５）学生支援

評価項目	R5 年度 自己評価
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
② 学生相談に関する体制は整備されているか	4
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	4
⑦ 保護者と適切に連携しているか	4

⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3
⑨ 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

自己評価
<p>進路・就職に関する支援体制は、1年次より計画的に実施している。卒業後、美容師を断念したり、離職したりする学生が増加する現状を踏まえて、キャリア教育・実践的な職業教育が必要であるという認識のもと、業界理解セミナー・職種理解セミナー等企業人事担当者の招聘を実施している。</p> <p>昨年度の求人数は900件を超え、就職率は昨年3月末で100%と順調に推移している。</p> <p>経済的支援については、入学時に特待生推薦・指定校推薦などの学費免除を行う学費支援制度を行っている。報奨金制度を設け、学ぶ意欲の向上を目的としている。遠方から進学し、新たに一人暮らしを始める学生については就学と生活を支援する制度として支援金を支給している。(一人暮らし応援制度)</p> <p>健康管理は、毎年の健康診断を実施している。毎週の近隣の清掃活動は、定着化している。</p> <p>保護者については、学期ごとに学校行事の報告や試験結果の送付などを行っている。欠課時間数が多い学生、授業態度の怠慢な学生には、保護者面談による早期解決を図ると共に、保護者との円滑な関係づくりを図っている。</p>

(6) 教育環境

評価項目	R5年度 自己評価
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
③ 防災に対する体制は整備されているか	4

自己評価
<p>教育設備・教室数は十分に整備されている。学内では、サロン現場を想定した相モデルでの実習を行う。</p> <p>インターンシップの実施により、職場訪問を実施し、美容室での美容師の仕事体験を行うなどし、職業意識を涵養する。</p> <p>防災については、「緊急避難マニュアル」を整備し、それに沿った避難訓練を実施している。緊急に対応する体制の整備が行えている。本年度は、地震時の避難訓練も追加した。</p>

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	R5年度 自己評価
① 学生募集活動は、適正に行われているか	4
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
③ 学納金は妥当なものとなっているか	4

自己評価
<p>学生募集活動は円滑に実施されているが、学生数の推移等のデータから更なる工夫改善が必要である。</p> <p>広報担当者は対象校及び担当者との人間関係を深め、誠意を持って対応することを念頭に意図的・実践的に具体的活動を実施してきた。このことにより対象学校から評価を得るに至っている。</p> <p>広報で得た信頼関係が具体的指導場面に連動する枠組みの作成や、対象校の詳細な現状を共有することにより教職員</p>

の相互理解を図る研修も今後実施したい。学納金については募集要項に明記している。

(8) 財務

評価項目	R5年度 自己評価
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

自己評価
<p>校舎リニューアルに伴う借入は返済が進んでおり、財務の健全性は引き続き、持されている。</p> <p>税理士の指導の下、予算計画・収支計画は妥当である。会計監査については適正に実施している。</p> <p>学校教育法の定める財務情報公開についても逐次、対応している。</p>

(9) 法令等の遵守

評価項目	R5年度 自己評価
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
④ 自己評価結果を公開しているか	4

自己評価
<p>個人情報保護規定に基づき、個人情報取り扱い規定を整備している。個人情報の取り扱いについては、特に留意しており、PCの持ち出しは禁止としている。自己評価・学校関係者評価も逐次、当校ホームページにて公開している。</p>

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	R5年度 自己評価
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

自己評価
<p>地域貢献としては、地域の献血活動、近隣の清掃活動等を実施し、地域住民との円滑な関係の構築が図れている。</p> <p>ボランティア活動は、学生の自主組織による活動を実施している。</p> <p>ヘアショーやイベントのモデル、企画運営のスタッフとしてボランティア活動を行うこともある。企業、美容室の美容技術講習会、美容用品商・美容組合の技術講習会、国家試験委員の打ち合わせ研修会等に学校を解放している。</p>